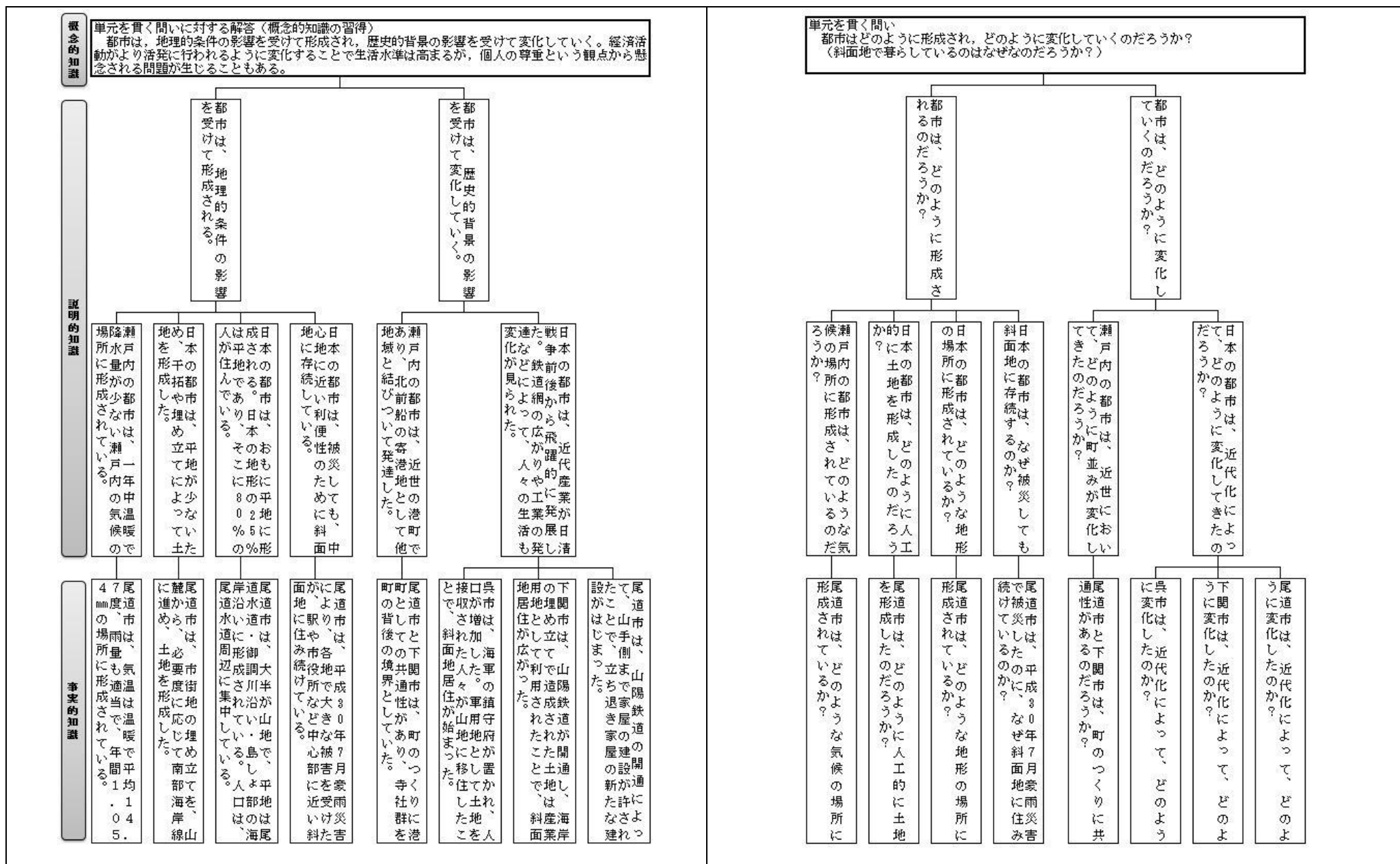
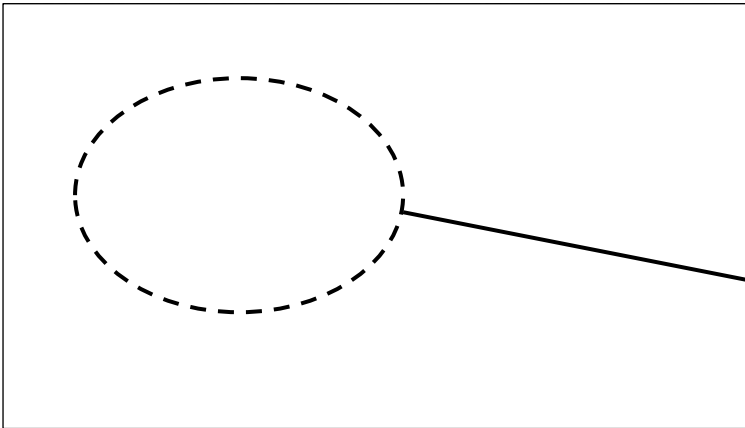


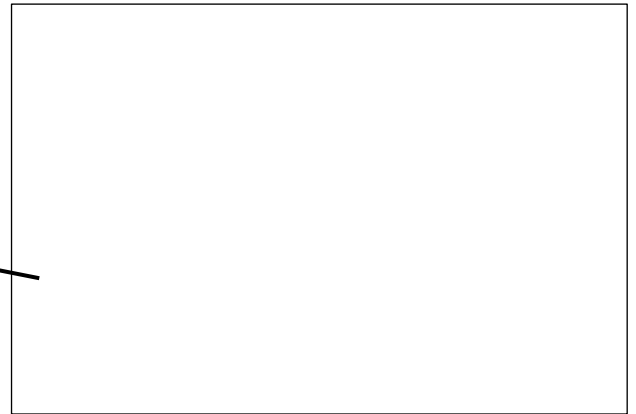


別添資料2 プレ・ポストテスト

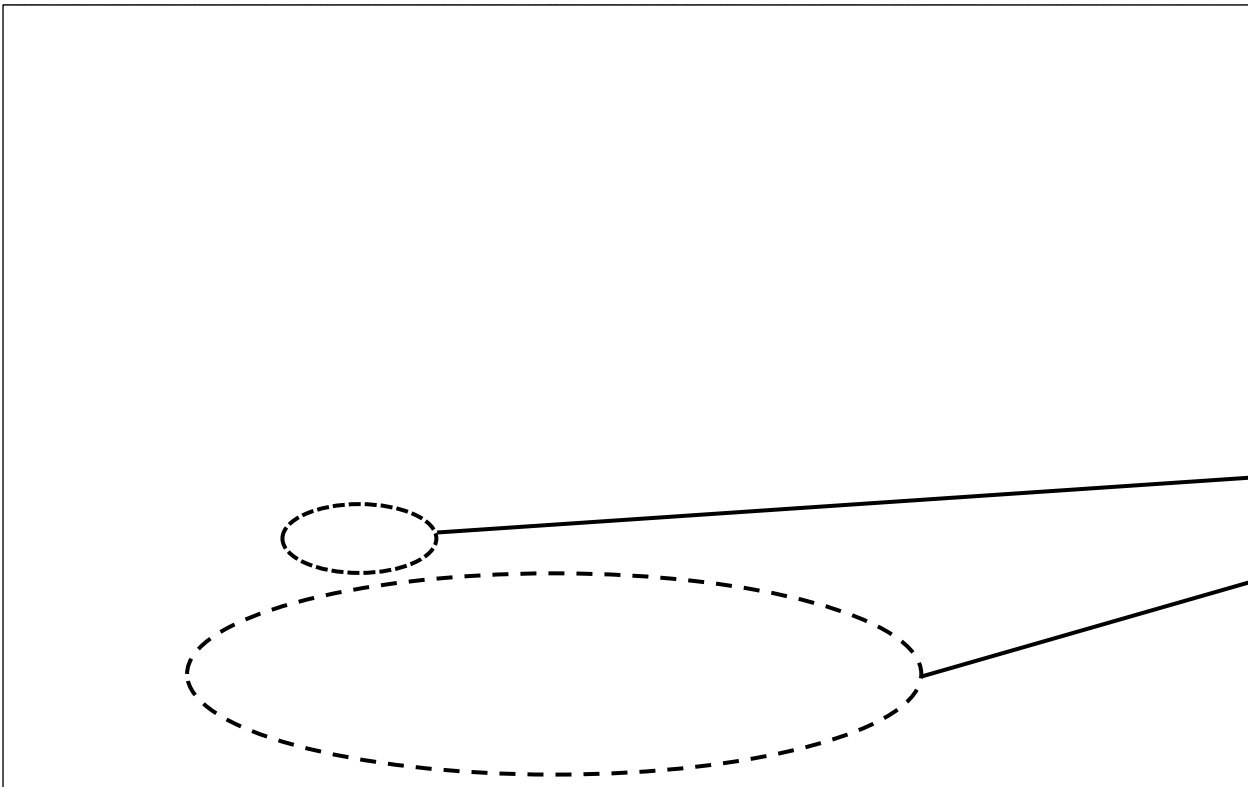
- 1 ある学級の社会科の授業で、広島県内の各地に残された文化財や諸資料に注目して「地域の歴史」を考えるというテーマで班に分かれて課題を設定し、追究する学習をしました。次の資料1・2は、太郎さんたちの班が集めたものです。下の会話は、太郎さんたちが班で学習したときのものです。あとの問いに答えなさい。



資料1 現在の呉市神原町の住宅地の様子



一部拡大



神原

住宅地

資料2 1877年の宮原村（現在の呉市宮原・坪ノ内町・船見町・青山町・室瀬町・神原町付近）の住宅の様子

太郎さん：資料1を見ると斜面にたくさんの家が建っていて、現在の^{くれし かんばらちょう}呉市神原町には特徴的な町並みが見られることがわかるね。

次郎さん：そうだね。平地の方が住みやすいのに、呉市神原町ではなぜ斜面に人が住んでいるだろうね？

咲子さん：昔から住んでいたのかな？

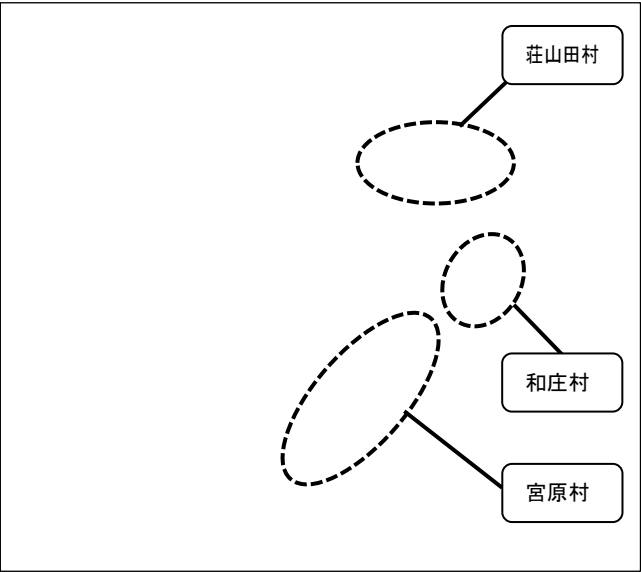
花子さん：ううん、資料2を見ると、1877年ころには斜面に家は建っていなさそうよ。

咲子さん：本当ね。

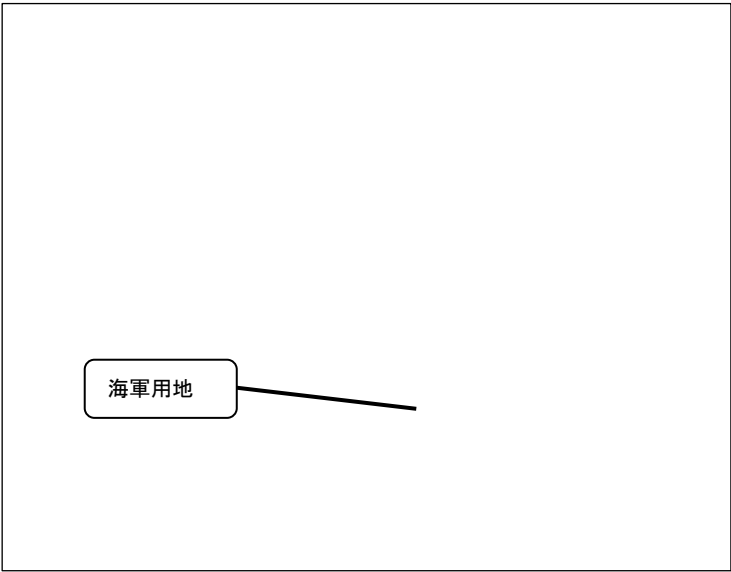
太郎さん：1877年には、住宅地は平地の部分のみにみられたのに、現在では山の急斜面まで住宅地が広がっているのはどうしてだろう？

次郎さん：みんなで資料を集めて、考えてみようよ。

問 太郎さんたちは、資料1～7を基に、なぜ急斜面まで住宅地が広がっているのかについて考え、その理由をまとめました。どのようなまとめが考えられますか。「地理的条件」「歴史的背景」にふれ、簡潔に説明しなさい。



資料3 1899年の呉の地形図



資料4 1929年の呉の地形図

年	呉の海軍用地に関わるできごと	日本のおもなできごと
1885年	軍港候補地の調査実施	
1886年	第二海軍区鎮守府の位置を呉港に設定し、工事始まる	
1889年	呉鎮守府(日本海軍の機関)が置かれる	大日本帝国憲法発布
1894年		日清戦争
1895年	呉兵器製造所設立	
1896年	造船工場開設	
1901年		八幡製鉄所操業開始
1903年	造船・兵器製造部門を呉海軍工廠(軍需工場)に統一	
1904年	製鋼部門を増設	日露戦争
1914年		第一次世界大戦
1937年		日中戦争
1940年	戦艦「大和」進水式	
1941年		太平洋戦争
1945年	呉空襲 呉海軍工廠廃止	終戦

資料5 軍港としての呉港の年表

年	人口(人)			
	荘山田村	和庄村	宮原村	合計
1885年	4,258	3,481	5,018	12,757
1886年	4,280	4,466	2,414	11,160
1887年	4,823	6,083	3,635	14,541
1890年	5,325	8,549	3,456	17,330
1902年	14,721	30,462	6,799	51,982
1907年	24,985	47,836	10,054	82,875
1912年	39,858	55,528	14,158	109,544
1916年	1916年以降は呉市全体の合計 各町村別の数値は不明			135,351
1921年				142,111
1926年				146,800
1931年				210,472
1935年				231,333
1941年				300,077
1943年				404,257
1945年				152,184

資料6 呉市内各地の人口推移とその位置関係

年	単位:円	
	農業	工業
1912年	93,760	1,380,900
1916年	101,717	2,201,756
1921年	329,596	8,078,646
1926年	256,947	9,395,487
1930年	569,037	12,072,208
1935年	528,021	15,101,945
1937年	639,015	17,398,126

資料7 呉市の生産額の推移

3年 () 組 () 番 氏名 ()

社 会 解答用紙

資料 3, 4, 5 より

資料 3, 5, 6 より

資料 5, 7 より

資料 2, 3, 4, 5, 6 より

問

海軍用地ができ、人口が増加、農業や工業が発展した一方、用地買収によって移住せざるを得なかった人々もいた。平地が狭かったので、より平地に近い斜面から住宅地が広がるようになった。

資料 1, 2, 3, 4 より